

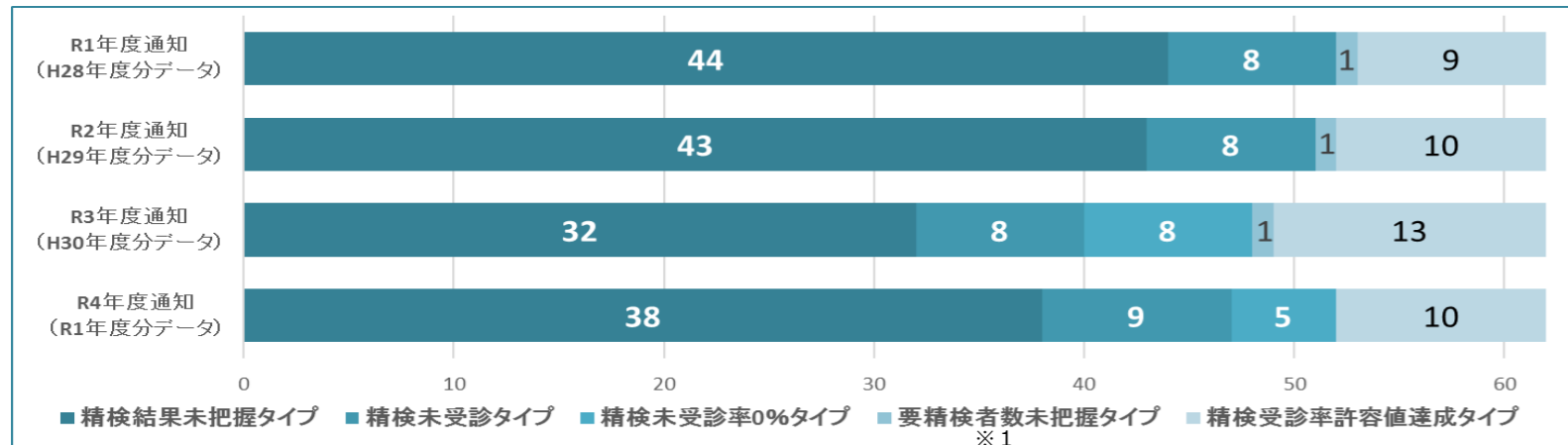
令和4年度 がん検診精密検査受診率向上に向けた区市町村の取組について

- 都では、東京都生活習慣病検診管理指導協議会が本部会における意見を踏まえて、各区市町村における精度管理上の課題などを具体的に明記し、改善を促すための通知を該当の自治体に対して発出している。
- この通知では、精密検査受診率に関する項目を定めており、**精密検査**（以下、「精検」という。）に係る**プロセス指標の値の特徴を下記の6つのタイプに分け、改善に向けた取組の提案等を自治体に提示している。**
- 特に、**各指標が許容値に達していない自治体**においては、**その要因や改善のための取組等を検討し、都に報告を求めている**（「精検対象者0人」及び「許容値達成」タイプについては、報告不要）。
- このたび、令和4年度の区市町村における精密検査受診率向上に向けた取組について集約した結果については以下のとおりである。 ※各自治体からの報告内容は別添のとおり。

1 分類区分

- 精検結果未把握タイプ**：精検受診率が許容値未満の検診の中で、**未把握率 > 未受診率**である検診が半数以上の自治体
- 精検未受診タイプ**：精検受診率が許容値未満の検診の中で、**未受診率 > 未把握率**である検診が過半数の自治体
- 精検未受診率0%タイプ**：精検受診率が許容値未満の全てのがん検診で**精検未受診率0%**の自治体
- 要精検者数未把握タイプ**：実施する全てのがん検診で**要精検者数未把握**の自治体
- 精検受診率許容値達成タイプ**：実施する全てのがん検診で**精検受診率が許容値達成している自治体（要精検者0人を含む）**

2 都内自治体のタイプ別内訳（各年度の通知は3年度前のプロセス指標値を使用）



3 各タイプの精密検査に係る各指標の許容値が満たされない主な要因と取組

各自治体の自由記載の回答を分類し集計

要因	左記タイプの自治体数	合計	(再掲) 区市町村別				(再掲) 島しょ
			区	市	町	村	
精検結果未把握タイプ		39	20	16	3	0	1
精検結果報告体制の整備に係る問題※2		37	18	17	2	0	0
精密検査受診状況の把握が不十分		5	2	3	0	0	0
精検未受診者への受診勧奨が不十分	左記項目を 主な要因と 回答した 自治体数	5	2	3	0	0	0
要精密検査判定にも関わらず医師から精検不要と説明され未受診	回答した 自治体数	3	3	0	0	0	0
要精検者が身体的負担等から精密検査を受診しない（大腸）	自治体数	3	2	1	0	0	0
不適切な検査の実施	※複数回答あり	1	0	1	0	0	0
新型コロナ感染症による受診控え		1	0	1	0	0	0
新型コロナ対応のための自治体の体制による問題		1	0	1	0	0	0

	左記タイプの自治体数	合計	(再掲) 区市町村別				(再掲) 島しょ
			区	市	町	村	
精検未受診タイプ		8	1	4	1	2	2
精検結果報告体制の整備に係る問題		0	0	0	0	0	0
精密検査受診状況の把握が不十分		0	0	0	0	0	0
精検未受診者への受診勧奨が不十分	左記項目を 主な要因と 回答した 自治体数	2	1	0	0	1	1
要精密検査判定にも関わらず医師から精検不要と説明され未受診	回答した 自治体数	3	0	2	0	1	0
要精検者が身体的負担等から精密検査を受診しない（大腸）	自治体数	5	1	4	0	0	0
不適切な検査の実施	※複数回答あり	2	0	2	0	0	0
新型コロナ感染症による受診控え		1	0	1	0	0	0
新型コロナ対応のための自治体の体制による問題		0	0	0	0	0	0

	左記タイプの自治体数	合計	(再掲) 区市町村別				(再掲) 島しょ
			区	市	町	村	
精検未受診率0%タイプ		5	0	2	1	2	2
精検結果報告体制の整備に係る問題		1	0	1	0	0	0
精密検査受診状況の把握が不十分		2	0	1	0	1	1
精検未受診者への受診勧奨が不十分	左記項目を 主な要因と 回答した 自治体数	2	0	1	1	0	0
要精密検査判定にも関わらず医師から精検不要と説明され未受診	回答した 自治体数	0	0	0	0	0	0
要精検者が身体的負担等から精密検査を受診しない（大腸）	自治体数	0	0	0	0	0	0
不適切な検査の実施	※複数回答あり	0	0	0	0	0	0
新型コロナ感染症による受診控え		0	0	0	0	0	0
新型コロナ対応のための自治体の体制による問題		0	0	0	0	0	0

※2 精検結果報告体制の整備に関わる問題詳細：精密検査結果把握のルートが整っていない/精密検査機関から結果報告されない/一次医療機関から結果報告されない/要精検者から結果報告されない/管轄自治体以外の医療機関で精密検査を受けることによるもの/報告が自治体に届くまでに時間がかかる/検診実施医療機関が多く精密検査結果を把握することが困難/区内に精密検査実施可能医療機関が少なく結果把握の連携を図ることができない

<経年の変化>

- **精検受診率許容値達成タイプ**
「精検受診率許容値達成タイプ」が増える傾向にあったが、令和4年度通知においては、昨年度から減少した。各自治体が要精検者の結果把握の改善に向けて取り組んでいるものの、コロナ禍の影響で伸び悩んだことが原因と考えられる。
- **精検未受診率0%タイプ**
精検未受診率0%タイプは精密検査結果を把握する体制がないことを意味するが、R3年度からR4年度にかけて8自治体から5自治体に改善している。

※1「精検未受診率0%タイプ」は、R3の通知に新たに追加した類型であり、R2及びR1の通知では「精検結果未把握タイプ」に分類

改善に向けた取組（一部抜粋 詳細は別添を参照）

- 精検結果未把握タイプ**
- ・一次検診機関・精検実施機関への精密検査結果把握の重要性の説明、結果報告協力依頼
 - ・東京都の統一様式の導入
 - ・医療機関に対し、精検結果報告書に加え、返信用封筒と受診勧奨用リーフレットの提供
 - ・要精検者本人への受診勧奨のさらなる充実（都のがん検診精密検査受診勧奨用リーフレットの活用、精検結果を電子にて回答できるフォーマットの作成等）
 - ・精密検査医療機関一覧の作成
 - ・検診機関へのプロセス指標値のフィードバック
 - ・精検結果未把握率が高い医療機関を抽出し、個別に回収ルートの確認、整備を実施
 - ・検診前に医師から要精密検査になった際は精密検査を受診する意思があるか受診者に必ず確認するよう医療機関へ配付する検診の取扱いの中で明記する
 - ・大腸がん検診においては、精密検査を再度便潜血法で実施している医療機関へ引き続き実施方法を説明する。

- 精検未受診タイプ**
- ・検診実施機関、医師会への精密検査受診勧奨の協力依頼
 - ・東京都統一様式の導入検討
 - ・医療機関へのプロセス指標のフィードバックの実施
 - ・検診機関別チェックリストの実施
 - ・大腸がん検診の間診時に要精密検査となった場合は必ず精密検査を受けることを確認してもらった上で検診を行っている。
 - ・受診者、医療機関両者に便潜血検査＝大腸がん検診と認識してもらおう対策の検討、精密検査までががん検診であることの周知
 - ・東京都作成のがん検診精密検査受診勧奨用リーフレットの活用を行い、精密検査受診者の受診勧奨を行う

- 精検未受診率0%タイプ**
- ・精検受診勧奨通知の送付
 - ・電話による受診勧奨
 - ・東京都統一様式の使用、導入の検討
 - ・要精密検査の受診される方が島外へ受診するための交通費および宿泊費の助成